

菊農生と女性部員が協力してSDGs活動



豊かに安心して暮らせる未来が続くために...

エス・ディー・ジーズ SDGsとは

Sustainable Development Goals(サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の略で、直訳すると「持続可能な・開発・目標」という意味です。

SDGsは私たち自身と、子や孫、さらにその先の世代も豊かに安心して暮らせる未来が続くために、いま私たちがやらなければならないリストです。一つではなく複数の項目があるので「s」がついています。いぶきでは15ページに毎月SDGsについて紹介していますので、読まれたことのない方は、読まれてみてください。



県立菊池農業高校農業科のSDGsプロジェクト班は、4月中旬から下旬にかけて、タケノコの加工品づくりをしました。放置竹林問題解決のための活動を展開し、竹資源を活用した環境保全や商品開発に取り組んでいます。加工に使ったタケノコは、人の背丈ほどに伸びた幼竹の先端部分の「穂先タケノコ」と呼ばれるもので、近隣のタケノコ農家から分けてもらいました。切ったあとの下部は枯れ、放置竹林の侵入・拡大を抑えることにつながるということです。

加工品づくりに女性部泗水支部の部員4人が協力し、タケノコの塩漬けづくりをしました。皮をむき、4~5センチの拍子切りにして塩をもみこみ、重石を乗せて塩漬けに。その後、天日干しで「干しタケノコ」にしました。

※乾燥することで、料理に年間活用できるのでタケノコの消費が増えます。需要が増えれば生産の向上と、竹林の活用が復活し、竹林荒廃解決につながるのではと考えます。干しタケノコを使った料理も考案中です。



SDGs活動は女性部のテーマでもあり、活発に活動を行っています。若い高校生の考えを合わせて、これからも協力できるところはどんどん一緒に取り組みたいと思います。7月には、農校生考案の「竹チップコンポスト」の話も聞き、まずモニターとして役員7人が実践していきま〜す。



園児らが玉ねぎ収穫体験

菊池農業高校園芸科1年生

5月20日



泗水東保育園年長組の16人が参加し、園芸科1年生の生徒25人が教えながら収穫しました。園児らは収穫の仕方がわかると、どんどん手早く収穫した玉ねぎを高校生に手渡しました。「楽しい」「もっと抜きたい」と元気に笑い、生徒らは「子どもたちと仲良くなれていい経験ができた」「一生懸命に楽しそうに体験してうれしくなった。野菜好きになって菊農に来てくれたらいいな」と話していました。